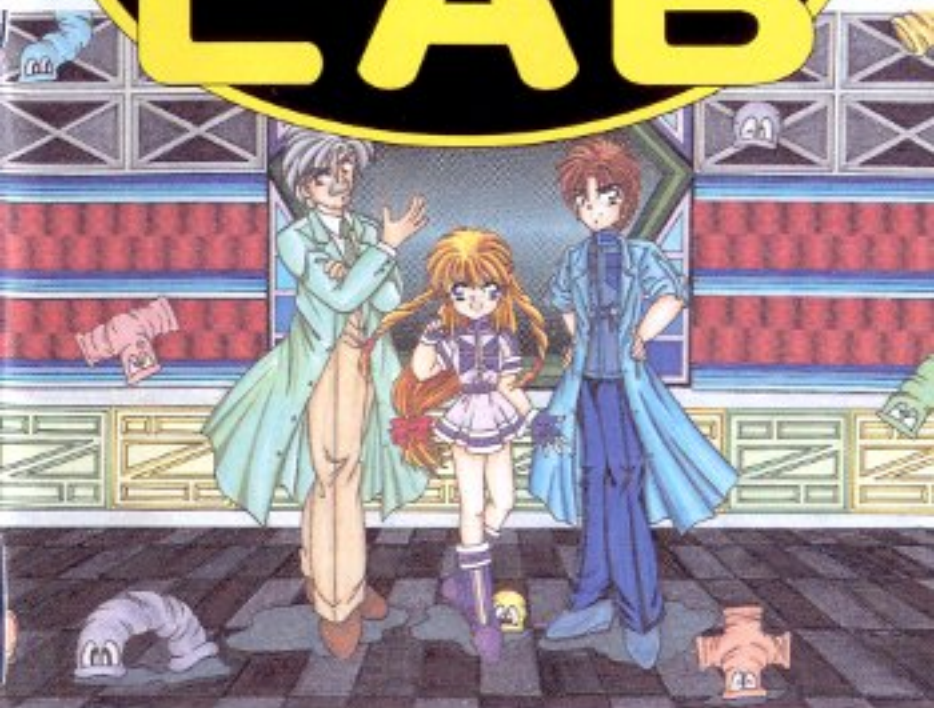


# VIRTUAL LAB



とりあつかいせつめいしょ

取扱説明書

VUE-VJVJ-JPN

VIRTUAL BOY

## 使用上のご注意

このたびは、(株)J・ウイングのバーチャルボー  
イ専用カートリッジ『バーチャルラボ』をお買  
い上げ頂き、誠にありがとうございました。まず  
はじめに別冊の「注意書」をお読みいただき、次  
にこの「取扱説明書」の指示に従い、各調整をお  
こなったうえ、正しい使用方法でご愛用くださ  
い。なお、「注意書」およびこの「取扱説明書」  
は大切に保管してください。



# CONTENTS

ゲームを始める <sup>はじ</sup> 前に <sup>まえ</sup>	4
ストーリー	8
キャラクター <sup>しょうかい</sup> 紹介	12
ゲームの <sup>もく</sup> 目的 <sup>てき</sup>	14
<sup>せっていがめん</sup> 設定画面	16
<sup>そうさほうほう</sup> 操作方法	20
パネルの <sup>け</sup> 消し方 <sup>かた</sup>	22



# ゲームを始める前に

ゲームをスタートする前に、次のような調整をおこなってください。

バーチャルボーイ本体に、カートリッジを正しくセットしてください。カートリッジをセットした後、コントローラーの前面にある電源スイッチをONにすると、しばらくして下の画面が現れます。

IMPORTANT :  
READ INSTRUCTION AND  
PRECAUTION BOOKLETS  
BEFORE OPERATING

じゅうよう：  
ゲームをはじめるまえに、ちゅういしよ  
およびとりあつかいせつめいしよを、  
かならずよんでください。



STARTボタンを押すと「目の幅調整画面」に切り替わります。目の幅調整とは、プレイヤーの左目と右目の幅に、バーチャルボーイ内部の表示装置を合わせる調整です。



調整画面を見ながら、本体上部にある「目の幅調整ダイヤル」をまわし、画面の4すみにあるマークが見える状態に合わせてください。

(3つが見えていれば、ゲームに支障はありません。)

このように4すみのマークが見えるように調整してください。



その他の調整については、バーチャルボーイ本体の取扱説明書をお読みください。

## オートマティックポーズ機能について

バーチャルボーイ専用カートリッジには、プレイヤーの目の健康を守るため、適度な時間に休止する「オートマティックポーズ機能」があります。

「目の幅調整画面」で調整を終えた後、STARTボタンを押すと下の画面に切り替わります。

十字ボタン左右で、「オートマティックポーズ機能」のON/OFFが選べます。

機能のどちらかを選んだ後、再びSTARTボタンを押すと、ゲームのタイトル画面が現われます。

**OPTION**

**AUTOMATIC**

**PAUSE**

**ON**

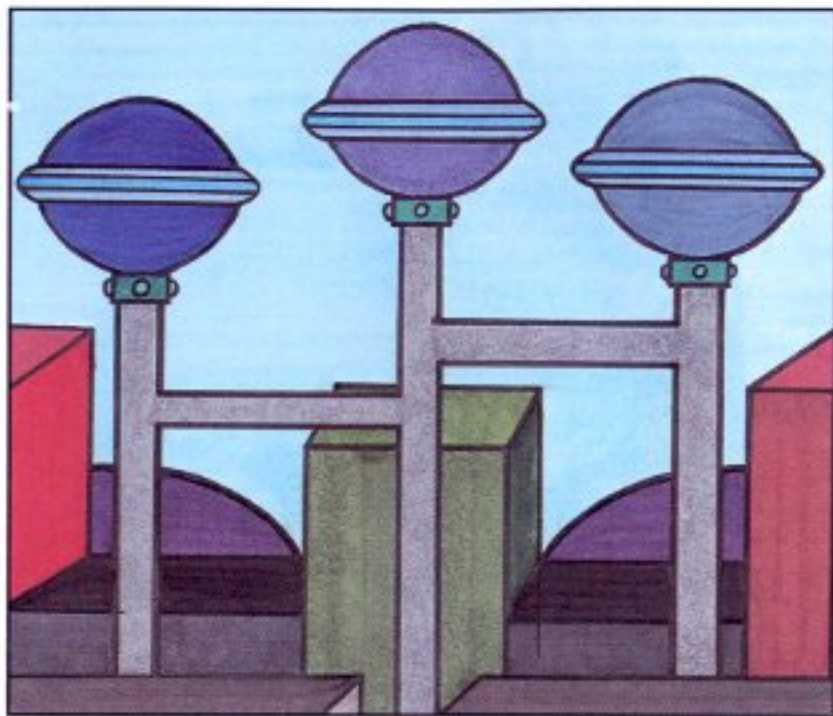
**OFF**

ONを選んだ場合、各ステージの終了時にオートマティックポーズ機能が働いて、ポーズ状態になります。適度の休息をとって、目や体を休めてください。

START ボタンを押すと、ゲームを再開できます。

西暦2095年、地球に程遠い惑星マリン・ブルーにコスモステーションが創られた。

ステーション内には、宇宙開発センターがおかれ、多くの科学者達が集まり、様々な研究が行われていた。その中のひとつ、バーチャル・ラボ研究所では所長でもある、片桐博士が究極生物“ミュウ”の生態を調べていた。

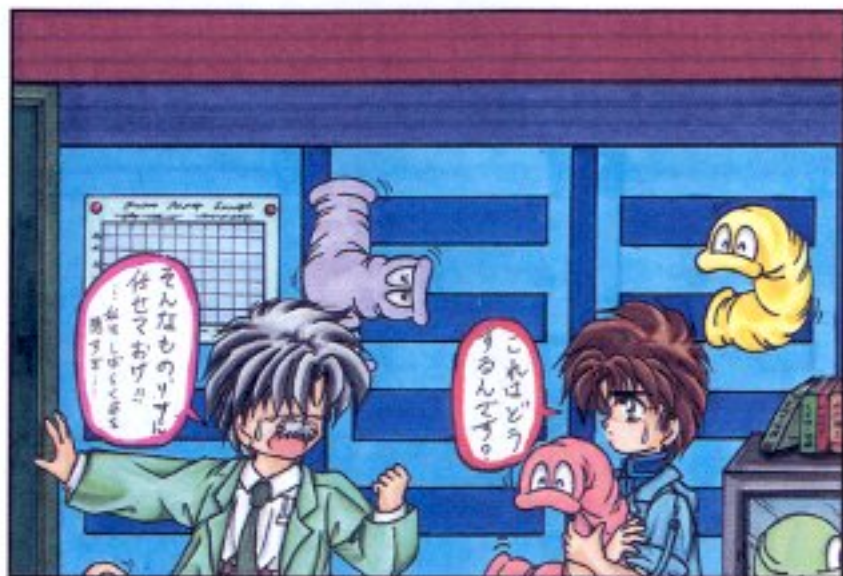






「ふっふっふっ…この生物の重大な発見を今度の研究学会の席で発表すれば、さらに私の名前が高められるぞ。」すっかり気を良くして、自室で仮眠を取っていた博士のところに助手である甲斐ケンが慌てた様子で次の事を告げた。「片桐博士、大変です!! 非常事態が発生しました!!」急いで特別研究室までかけつけた2人が見たものは室温自動調整器の故障で、室内温度上昇の為、増殖反応をおこした“ミュー”の姿だった。

「げげっ、…これはやばい!!こんな事が学会のメンバーに知られたら、私の名前に傷がつく。……甲斐君、この事は誰にもいってはならんぞ。私はしばらく隠れておるからな。」「そ、そんな…この状況はどうするんです?」「そんなものリサにでも任せておけ。もう、授業が終わるころだろうからな。」そういつて博士はドアから出ていってしまった。「そういうわけにはいきませんよ、博士!!」すでに姿の見えなくなった博士の後を追って甲斐も部屋を出ていった。





「な〜にこれ…。」私がいつものように研究室のドアを開けると、そこはいつもと違う光景だった。私の目の前で、奇妙な生物が部屋中を覆いつくしていたのだ。「これって、お父さんの研究していた生物じゃないの〜。部屋の中にいないところを見ると逃げたなあー。」ふと、机の上のメモに気づいた。この状況の原因と生物の対処法とが書いてある。“後は宜しく”と父の伝言と甲斐君の“博士を探してきます”というメモを手には、私の体は硬直した。

「もう〜、おとうさん見つけたらタダじゃすまないからね!!」そんな私の目の前で、『ミュー』達はどんどん増え続けていった。



## キャラクター紹介



わたし かたぎり  
私、片桐 リサ 13 歳。  
せいかく あか  
性格は明るくて、  
ちよーっと気が強いつ  
てとこかな。  
いちおう しゅじん  
一応このゲームの主人  
公だよ。

(スタン博士の娘)



ミュー、ミュ  
ミュー ミュ〜〜。  
(訳：僕達、原生動  
物で「ミュー」と  
いうんだ。謎の多  
い生物だよん。)



わたしは片桐スタン35歳だ。  
研究所の所長も勤めておる。自分  
で言うのもなんだが、なかなかの  
切れ者だぞ。

(でも性格はいいかげん；娘談)

はじめまして。  
甲斐ケンと申しま  
す。年は18歳で  
す。年のわりには  
よくしっかりして  
いると言われます。  
現在片桐博士の  
助手をしています。



## ゲームの目的<sup>わくてき</sup>

…まったく、お父さん<sup>とう</sup>の無責任<sup>むせきにん</sup>さにもまいる  
なあ…なんてあきれてる場合<sup>ばあい</sup>じゃなあ〜い!!  
私<sup>わたし</sup>にはやらなきゃならない事<sup>こと</sup>がいっぱいある  
し。

…そう、研究室<sup>けんきゅうしつ</sup>にあったあのメモに処理方法<sup>しゅりほうほう</sup>が  
書いてあったの。

それによると“ミュー”は断片<sup>だんぺん</sup>にある穴<sup>あな</sup>で呼吸<sup>こきゅう</sup>し  
ているから、これを塞<sup>ふさ</sup>げばいい…とのこと。

うーん、要<sup>よう</sup>するに口<sup>くち</sup>を全部<sup>ぜんぶ</sup>塞<sup>ふさ</sup>いで窒息死<sup>ちっそくし</sup>させれ  
ばいいんだね。

“ミュー”は死ぬ<sup>し</sup>と空気中<sup>くうきちゅう</sup>の酸素<sup>こうそ</sup>によって体<sup>からだ</sup>が溶  
かされて消<sup>き</sup>えるそうだ…って、これは別<sup>べつ</sup>にどう  
でもいいかな。

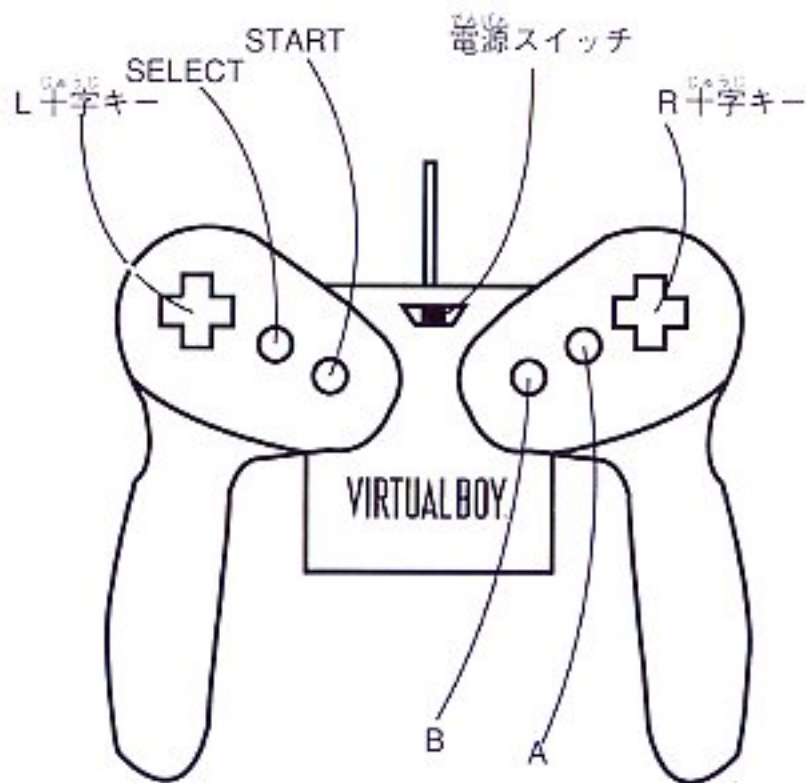
だって目的はたくさんの“ミュー”を同時に消して、1匹も残らぬように消失させる事なんだから。

…これを読んでいるその君、しっかり私を操作してね。

なんといっても君の腕次第なんだから…。



コントローラー 説明  
**CONTROLLER の説明**





**START :**      ゲームスタート  
ポーズ

**SELECT :**      せんたく      げつてい  
選択の決定

**A :**      らくか      ときけい      まわ      かいてん  
落下パネルの時計回り回転

**B :**      ひくずう      いち      か  
複数パネルの位置替え

**十字キー左右 :**      じゅうじ      みぎ      さへう      うしろ  
パネルの左右移動

**十字キー下 :**      じゅうじ      した      らくか      かそく  
パネルの落下加速

## タイトル画面<sup>だめん</sup>



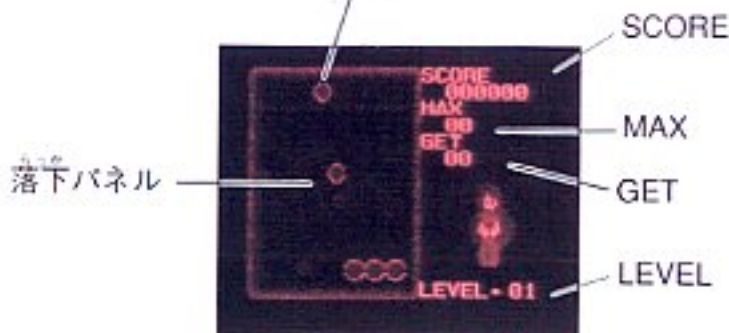
ここで、落下速度<sup>らっかそくど</sup>の設定<sup>せってい</sup>をします。

LOW（遅い<sup>おそい</sup>）・MID（普通<sup>ふつう</sup>）・HI（速い<sup>はやい</sup>）

## PLAY 画面の説明

画面の上から落下してくるパネルをつなぎあわせて  
パネルを消失させてください。

次回落下パネルの表示



SCORE	スコア
MAX	同時消失パネル数の最高記録 (ゲームオーバーで抹消)
GET	直前の同時消失パネル数 (次の反応で更新)
LEVEL	現在のレベル
落下速度	(LOW、MID、HI の 3 段階)



# パネルの種類しゅるい



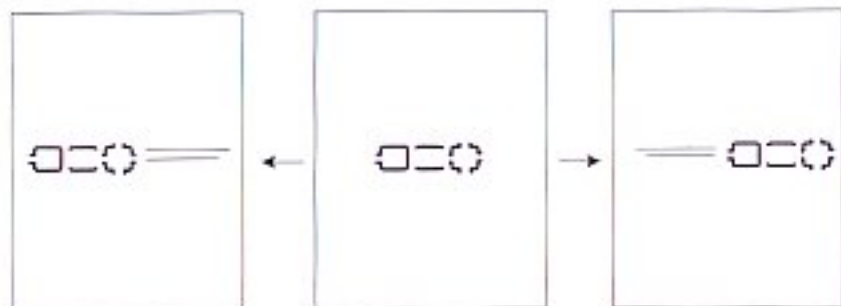
うえ 上の5種類しゅるいがあります。



# 操作方法そうさ ほうほう



じょうじ 十字キーの左右さゆうで、パネルを左右さゆうに移動いどうさせることができます。



じょうじ 十字キーの左で  
ひだり 左へ移動

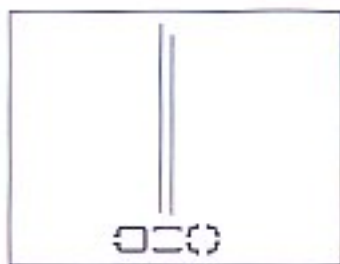
じょうじ 十字キーの右で  
みぎ 右へ移動



十字キーの下でパネルの速度を速めることができます。



十字キーの下を  
押さない場合



十字キーの下を  
押した場合

Bボタンを押すと、パネルの位置が変わります。

□ □ □ → □ □ □ → □ □ □

Bを押す。 Bを押す。

Aボタンを押すとパネルが回転します。

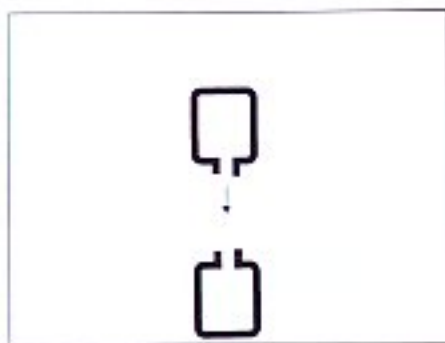
□ □ □ → □ □ □ → □ □ □ → □ □ □

Aを押す。 Aを押す。 Aを押す。

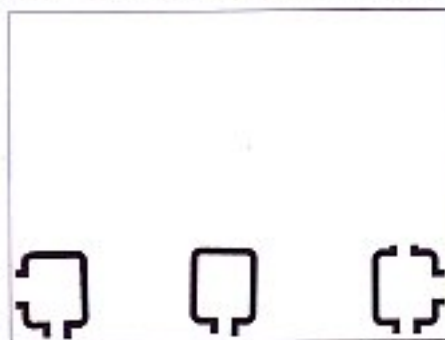
## パネルの消し方

パネルの開口部<sup>かいこうぶ</sup>をすべてふさぐと、パネルは消失<sup>しょうしつ</sup>します。パネルの塞ぎ方<sup>ふさぎかた</sup>は2通りあります。

- ①パネルの開口部<sup>かいこうぶ</sup>どうしをつなく。



- ②パネルの開口部<sup>かいこうぶ</sup>を床<sup>ふか</sup>や壁<sup>かべ</sup>につけます。



※このような場合、<sup>ばあい</sup>消失<sup>しょうしつ</sup>しません。

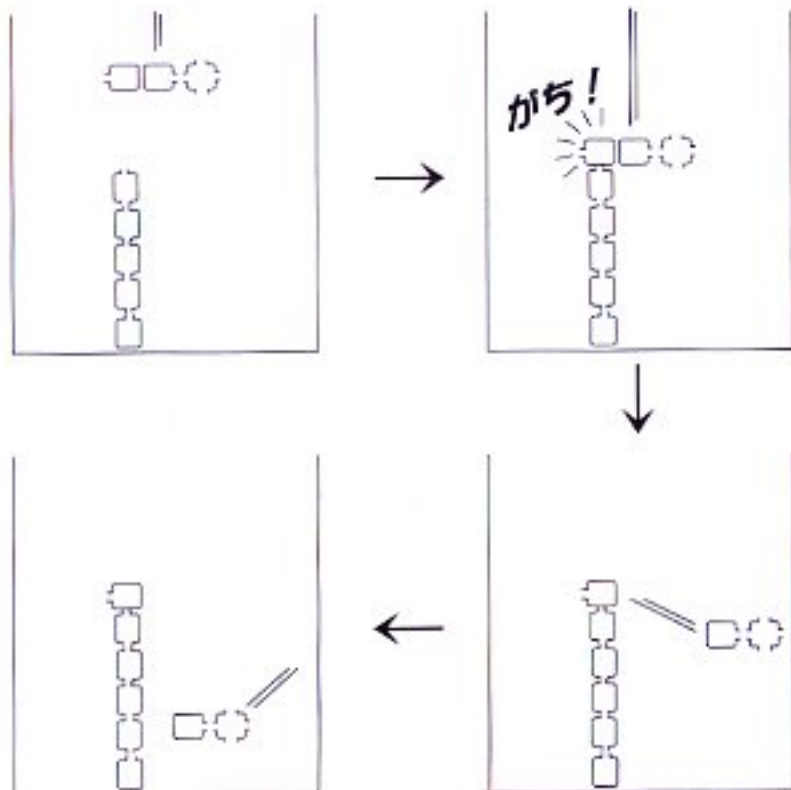
パネルの開口部<sup>かいこうぶ</sup>が、自<sup>じ</sup>分の表面<sup>ひょうめん</sup>にくっついてしまった場合<sup>ばあい</sup>、このパネルは消失<sup>しょうしつ</sup>しません。



## 複数のパネルについて

レベルアップすると落下してくるパネルが複数になることがあります。

複数のパネルのどれか1つが着地すると他のパネルは独立して動かすことができるようになります。



# 10 個以上同時に消した場合

どうも、甲斐です。

ブレインに1つ教えた  
事が…。きつと役に立つ  
と思います。操作を間違え  
たりして消せなくなつた  
“ミュー”が出てきたら、  
慌てずに10匹以上の  
“ミュー”を同時に消し  
てください。その後妖精  
が現われて、画面の一  
下の段の“ミュー”を消  
失させますので。えっ？  
どうして下だけ消えるも  
う？ここではどうもい  
かつかつて？ここは消  
う法則があるんです。消  
せなくなつた“ミュー”  
を消失させるにはこの  
方法しかありません。リサ  
れをうまく利用してあげて  
さんを手伝ってあげてく  
ださいね。





## 連鎖反応

- 上に乗っているパネルは下のパネルが消失すると重力の法則で落下します。そして、落下後開口部が地面にくっついたり、他のパネルの口を塞いだりすることがあります。そしてすべての口が塞がればそのパネル群も消失します。
- 場合によっては、2度、3度の連鎖反応を作ることも可能です。

…それはあなたの腕しだい！！

## レベルアップ

- 画面のパネルを全部消すと、そのレベルがクリアされたことになります。そして、次のレベルに上がります。
- レベルアップは、同時に消去したパネルの数によって上がり方が変わります。

MAX20未満：	1レベルのアップ
MAX20～29：	2レベルのアップ
MAX30～39：	3レベルのアップ
MAX40～49：	4レベルのアップ
- 場合によっては、一番初めのステージで、1つのパネルを処理しただけで、レベルアップになることもあります。

…それはあなたの運しだい！！

## ゲームオーバー

- <sup>がめん</sup>画面のパネルが上まで積み上がったら、ゲームオーバーです。  
次のトライをお待ちしています。
- レベルアップ時の休憩<sup>じ きゅうけい</sup>タイムは、最大限利用<sup>さいだいいげん りよう</sup>したほうが、高得点<sup>こうとくてん</sup>にもつながりますよ。





完全にミューを撃退できるかー?!  
Good Luck!!



## ユーザーの皆様へ

- このソフトウェアと取扱説明書は、株式会社 J・ウイングの著作物です。その一部または全部を、株式会社 J・ウイングの許諾なく、複製、複製すること、およびレンタル業、もしくはそれに類似する行為に使用することは、法律（著作権法など）で禁止されています。
- ゲーム内容などに関するご質問、攻略法などについては、誠に勝手ながらお答えできませんのでご了承ください。
- 製品には万全を期しておりますが、万一株式会社 J・ウイングの責に帰する不都合が生じましたら、ご面倒とは思いますが、「株式会社 J・ウイング ユーザーサポート係」までご連絡くださいますようお願い申し上げます。



VIRTUALBOY・バーチャルボーイ<sup>TM</sup> は任天堂の商標です。

FOR SALE AND USE IN JAPAN ONLY AND COMMERCIAL RENTAL PROHIBITED.

本品は日本国内だけの販売および使用とし、  
また商業目的の賃貸は禁止されています。



株式会社 J・ウイング

〒115 東京都北区赤羽 1-60-1 グランデール 202